

## 【持続可能な地域社会プログラムと認定について】

### 1 持続可能な地域社会プログラムとは

- 有限な資源を大切に、誰もが安心して安全に暮らせる地域社会
- 市民、行政、民間企業、NPO、専門家等がそれぞれの責任を果たし、連携により築き上げる地域社会
- 文化、芸術、歴史等、地域特性を活かした、グローバル社会に対応した地域社会
- 理論に基づいた知見を基に実践し、暮らしの質の向上を目指す地域社会  
を  
目指した知見を深める実践系のプログラムである。

### 2 本プログラムの特徴

- 人文学、社会科学、法学、社会工学、人間科学など様々な分野を学際的に学ぶ。
- 現代社会の問題を知り、解決・予防する方策を学び、実践する力を身に付ける。
- 原則、平日は夜間の遠隔授業、土曜日等は午前・午後の対面授業で、プログラム修了を可能とする。

### 3 プログラムの認定条件は、以下のとおりとする。

- (1) 総合研究科目 以下から1科目以上  
総合研究科目1（秋元・鈴木・南雲）、総合研究科目4（影山）土曜日開講
  - (2) 特講基礎科目 以下から2科目以上  
地方自治論（新垣）、都市計画論（中西）、SDGsと都市環境論（青）夜間開講
  - (3) 特講展開科目 研究報告書で修了の場合は、以下から7科目14単位  
修士論文で修了の場合は、以下から3科目6単位
    - 夜間・土曜日開講の特講展開科目  
都市解析論（後藤）、市民まちづくり論（三輪）、都市デザイン論（鈴木）、防災まちづくり論（石川）、不動産マネジメント論（齊藤）、都市政策論（大島）、地域ガバナンス論（宇野）、都市ビジネス論（矢部）
    - 隔年夜間開講  
福祉社会論（休講）、多文化共生論（滝田）、観光政策論（有馬）、共生社会の地理学（吉田）
    - それ以外  
公共政策論（和田）
- ※なお下線は演習の担当教員も兼ねる。
- (4) 「修士論文」又は「研究報告書」を合格していること。

### 4 プログラム修了までの流れ

- (1) プログラムに参加するにあたり、参加申請を行う。  
※ 参加申請と修了申請を同時に行うことはできませんので、必ず事前に参加申請を行ってください。
- (2) 申請後、プログラムの修了に必要な要件を満たすよう学修してください。
- (3) プログラムの修了に必要な要件を満たしたら（必要単位数の修得等）、修了申請を行ってください。
- (4) 修了申請を受け、修了要件を満たしていることが確認された学生に対しては、大学から修了証が発行されます。

## 【注意事項】

- ・オリエンテーション時に本プログラムの説明を行います。
- ・参加及び修了の申請方法や時期については、事前にYCU-Boardでご案内します。
- ・プログラムの修了要件となっている科目の履修は、通常の履修登録と同じ期間内に同じ手順で登録してください。